第８講
宗教戦争と絶対王政（フランス・ドイツ）

〔1〕フランス

A.ユグノー戦争

カトリーヌ…シャルル９世（ヴァロワ朝）の母后・摂政

貴族勢力の抑圧・ユグノー弾圧の緩和　→　ユグノー増大

ユグノー戦争（1562 ~ 98）

サンバルテルミの虐殺（1572）

アンリ３世の暗殺　→　ヴァロワ朝断絶（1589）

B.ブルボン朝〔1589 ~ 1792・1814 ~ 30〕

①**アンリ４世**

カトリックへ改宗

ナントの王令（1598）…個人に信仰の自由

東インド会社設立（1604）・ケベック（現カナダ）建設（1608）

②**ルイ13世**

全国三部会招集停止（1615 ~ 1789）

宰相**リシュリュー**

・**三十年戦争**（1618 ~ 48）への介入．新教徒を援助

③**ルイ14世（太陽王）**

宰相**マザラン**の登用

・**三十年戦争**への継続介入．**ウェストファリア条約**（1648）

・**フロンドの乱**（貴族の反乱，1648）の鎮圧

・**王権神授説**を信奉…〝**朕は国家なり**〟（教育係ボシュエ）

・**官僚制**・**常備軍**

蔵相**コルベール**の登用（産業保護主義の展開）

・**東インド会社再建**（1664）．**シャンデルナゴル・ポンディシェリ**建設

ルイジアナ植民地の建設

ナントの王令廃止（1685）　→　ユグノー（商工業者）の国外逃亡

ヴェルサイユ宮殿（バロック式）

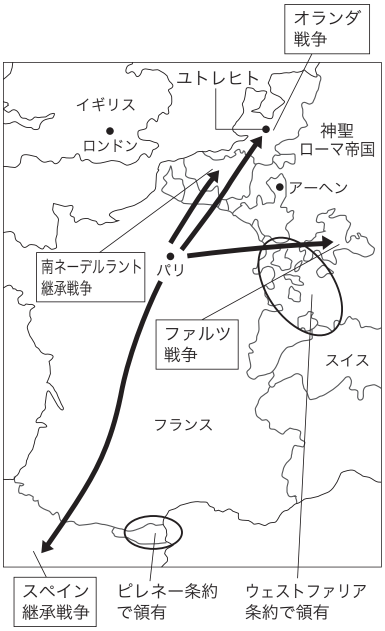
侵略戦争（**自然国境説**）

・南ネーデルラント継承戦争

・オランダ戦争

・ファルツ戦争

・**スペイン継承戦争**（1701 ~ 13）…**ユトレヒト条約**（1713）



フランスの領土拡大

・スペイン＝ハプスブルク朝の断絶（1700）に伴う王位継承権争い
・フェリペ５世（ルイ14世の孫）の即位
・スペイン＝ブルボン朝の成立
・英仏植民地戦争（北米）
・**ジブラルタル・ミノルカ島**（スペイン=ブルボン家→イギリス）
・**ニューファンドランド・アカディア・ハドソン湾地方**（フランス=ブルボン家→イギリス）

④**ルイ15世**
・**オーストリア継承戦争**（1740 ～ 48）
・**七年戦争**（1756 ～ 63．外交革命）…**フレンチ＝インディアン戦争**（北米）
プラッシーの戦い（インド）

⑤**ルイ16世**
アメリカ独立革命（1775 ～ 83）への参戦　→　財政破綻・フランス革命へ

〔2〕ドイツ

A.三十年戦争（1618 ～ 48）
・**ベーメン（ボヘミア）の反乱**
・クリスチャン４世（デンマーク王）の介入
・**グスタフ=アドルフ**（スウェーデン王）の介入
・**ヴァレンシュタイン**…両王の介入を撃退
・フランス（宰相**リシュリュー**）の介入
ウェストファリア条約（1648）
「アウクスブルクの和議」の確認．**カルヴァン派の公認**
スイス・オランダの独立を国際的承認
仏…アルザス，ロレーヌ獲得
神聖ローマ帝国の有名無実化…領邦の完全主権を承認

B.プロイセン
起源
ブランデンブルク辺境伯領
ホーエンツォレルン家支配（1415以降）
ドイツ騎士団領（13Ｃ建設）　→　**プロイセン公国**（1525）
両国の合同（1618）
・**グーツヘルシャフト**（16Ｃ以降）…**ユンカー**（領主貴族）による農場領主制，西欧に穀物を輸出

①フリードリヒ＝ヴィルヘルム…ドイツ三十年戦争期
②フリードリヒ１世…スペイン継承戦争への参戦　→　**プロイセン王国**（1701 ～ 1918）成立
③**フリードリヒ＝ヴィルヘルム１世**「兵隊王」

④**フリードリヒ２世**…**サンスーシ宮殿（ロココ式）**建設

ヴォルテールとの親交．**啓蒙専制君主　“君主は国家第一の下僕”**

オーストリア継承戦争・七年戦争への参戦　→　シュレジエン獲得

第１回ポーランド分割（1772）に参加

C.オーストリア

起源…対**マジャール人**のための辺境伯領

ハプスブルク家

オーストリア支配（13C）　→　神聖ローマ皇帝位の世襲（1438 ～）

複合民族国家…チェック人（ベーメン）・マジャール人（ハンガリー）など支配

オーストリア継承戦争（1740 ～ 48）

原因…**マリア＝テレジア**の帝位継承

結果…マリア＝テレジアのオーストリア皇帝即位を承認

プロイセンは**シュレジエン**獲得

七年戦争（1756 ～ 63）

原因…マリア＝テレジアによるシュレジエン奪回戦争

外交革命（**ハプスブルク**と**ブルボン**の提携）

プロイセンの**シュレジエン**領有を確認

ヨーゼフ２世　啓蒙専制君主

諸改革（**宗教寛容令**・**農奴解放**）は失敗

第８講　確認問題

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　旧教国フランスでも①16世紀半ばにはユグノーと呼ばれるカルヴァン派の新教徒勢力が無視できなくなり，②シャルル10世と母親の摂政③カトリーヌのもとで④ユグノー戦争が勃発した。

2　フランス東インド会社は①1664年に再建されて，②ヴォルテールのもとでインドに進出し，③ポンディシェリ・シャンデルナゴルを基地として④イギリスと対抗した。

3　①ルイ14世が②ナントの王令を③発布しカトリック主義を前面に打ち出したことが，④職業召命説により蓄財に励む勤勉なユグノーが国外に逃亡しフランスに産業の衰退をもたらした。

4　ルイ14世は，孫を①フェリペ5世としてスペイン王位につけた。これに西欧諸国は反発し，②スペイン継承戦争が起こった。1713年に講和条約の③ユトレヒト条約が結ばれ，フランスは北米大陸の領土を④スペインに割譲した。

5　ベーメンでの①プロテスタント貴族の反乱により②三十年戦争がはじまると，スウェーデンやフランスなど多くの国が介入した。この戦争は③パリ条約によって終結し，神聖ローマ帝国では④カルヴァン派が公認された。

6　1740年，①フリードリヒ２世は，②オーストリアのマリア＝テレジアが③ホーエンツォレルン家の全領土を継承したのに異議を唱えて，資源の豊富な④シュレジエンを占領した。

7　プロイセンは，「兵隊王」と呼ばれた①フリードリヒ１世が軍備を強化した。子の②フリードリヒ２世は③第１回ポーランド分割に参加するなど領土を拡大する一方で，フランスの思想家④ヴォルテールらの影響を受け，国内の改革を行った。

8　マリア=テレジアは，敵対していた①イギリスと同盟するという②外交革命と呼ばれる友好関係を結んで，1756年に③七年戦争を起こした。その子の④ヨーゼフ2世は啓蒙専制君主として宗教寛容令などの改革を行った。

解答

1　②→シャルル９世　　2　②→コルベール　　3　③→廃止
4　④→イギリス　　5　③→ウェストファリア　　6　③→ハプスブルク家
7　①→フリードリヒ＝ヴィルヘルム１世　　8　①→フランス